



インストールガイド

Version 5.0
2009 年 4 月

©PacketVideo Corporation
<http://www.twonkymedia.com>

目次

目次	3
1 はじめに.....	5
1.1 インストール.....	5
1.2 インストールガイドについて	5
1.3 フィードバックとテクニカルサポート.....	5
2 Windows XP / Vista の場合の設定	6
3 Linux.....	14
3.1 Shell スクリプトのインストール.....	14
3.1.1 プリインストールの設定	14
3.1.2 サーバのインストールとスタート	14
3.2 ZIP 形式のパッケージでのインストール.....	16
4 Mac OS 設定ツール.....	18
4.1 MAC 上でのアンインストール.....	24
5 詳細設定	25
6 サードパーティソフトウェア	26

1 はじめに

PacketVideo の TwonkyMedia server は、UPnP/DLNA メディアサーバです。ご家庭内の UPnP で動作するクライアントデバイス(メディアプレイヤー、デジタルメディアプレイヤー(DMP)、またはメディアアダプタ等で知られる機器)と音楽、写真、動画の共有を可能にします。

1.1 インストール

TwonkyMedia server のライセンスは、次のいずれかの方法で入手可能です:

- NAS(Network Attached Storage)と呼ばれるネットワーク据付けストレージのような機器やセットトップボックス(STB)に、プリインストールという形で組み込まれている場合
- クライアントデバイスにバンドルされている場合
- TwonkyMedia オンラインストアで入手する場合

一つ目のプリインストールされた方法であれば、TwonkyMedia server はすでにデバイス内にインストールされていますので、すぐ使用開始できます。その他の二つの方法では、まず TwonkyMedia server のインストールから始めてください。このインストールガイドでは、パソコン内の WindowsXP/Vista、Linux、Mac 等の OS プラットフォームへのインストール方法を説明しています。

ほとんどの場合、TwonkyMedia server のインストールが完了したら、すぐご使用いただけるよう初期設定されています。もちろん、ウェブベースのサーバ設定ページを使って、お好みに合わせて、さまざまなカスタマイズ設定もしていただけます。

Windows をお使いであれば、トレイアイコンから設定ページにアクセス可能です。Mac をお使いの場合は、デスクトップアイコンが作成されますので、そちらからアクセスしてください。Linux をお使いのお客様は、ブラウザで設定ページを開いてください:

`http://server-ip:port`

“server-ip”は、実際に TwonkyMedia server が動作しているデバイスの IP アドレスになります。port (ポート)は、TwonkyMedia server の HTTP サーバのポート番号です。初期では 9000 に設定されています。それぞれの設定オプションについては、オンライン上のヘルプをご覧ください。

1.2 インストールガイドについて

この手順書は、パソコン上の OS プラットフォームへのインストール方法について解説したものです。TwonkyMedia のセットアップや設定に関する詳しい情報については、ウェブサイトの[FAQ\(よくある質問\)](#)と[フォーラム](#)をご覧ください。

1.3 フィードバックとテクニカルサポート

テクニカルサポートが必要な場合は、次のサポート部門にお問い合わせください。<https://buy.twonkymedia.com/ContactUs.aspx> こちらで、TwonkyMedia server に関するみなさまのご意見、ご要望も受付ています。

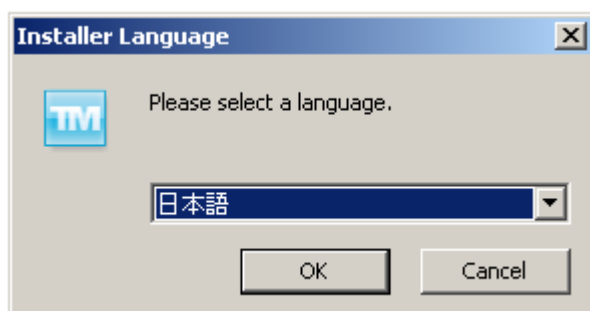
2 Windows XP / Vista の場合の設定

古いバージョンの TwonkyMedia がインストールされている場合は、まずそれをアンインストールしてください。スタートメニューから次の手順に従ってください。

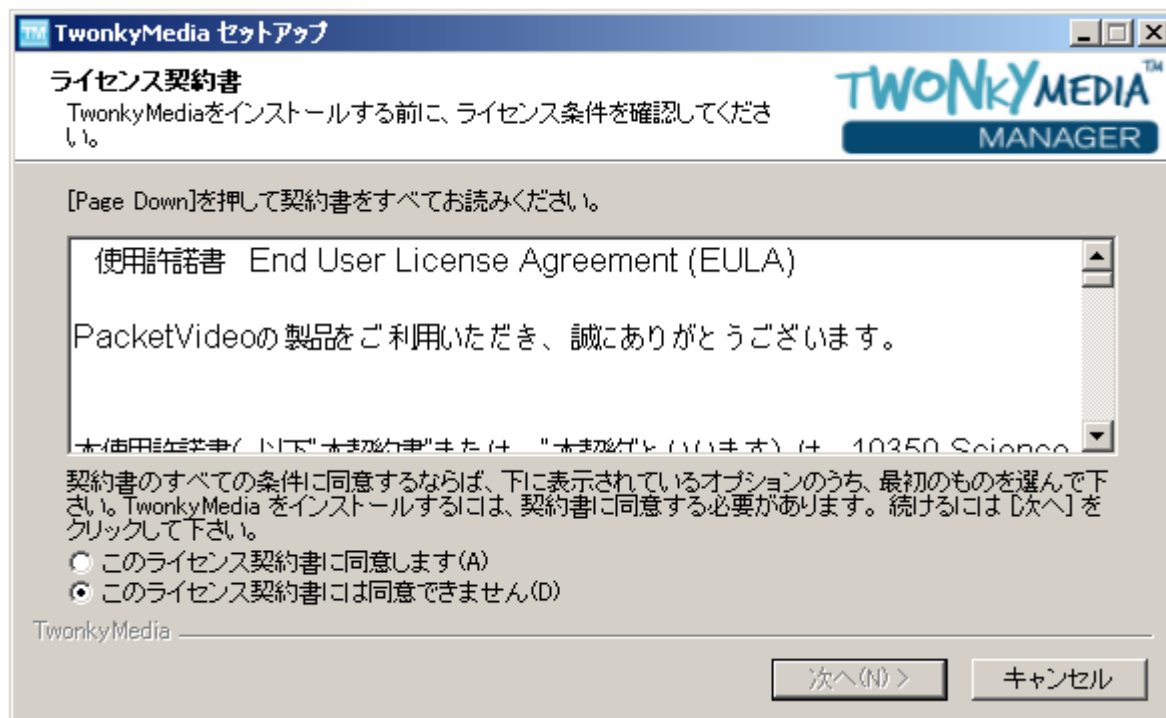
スタート → コントロールパネル → プログラムの追加と削除 → TwonkyMedia

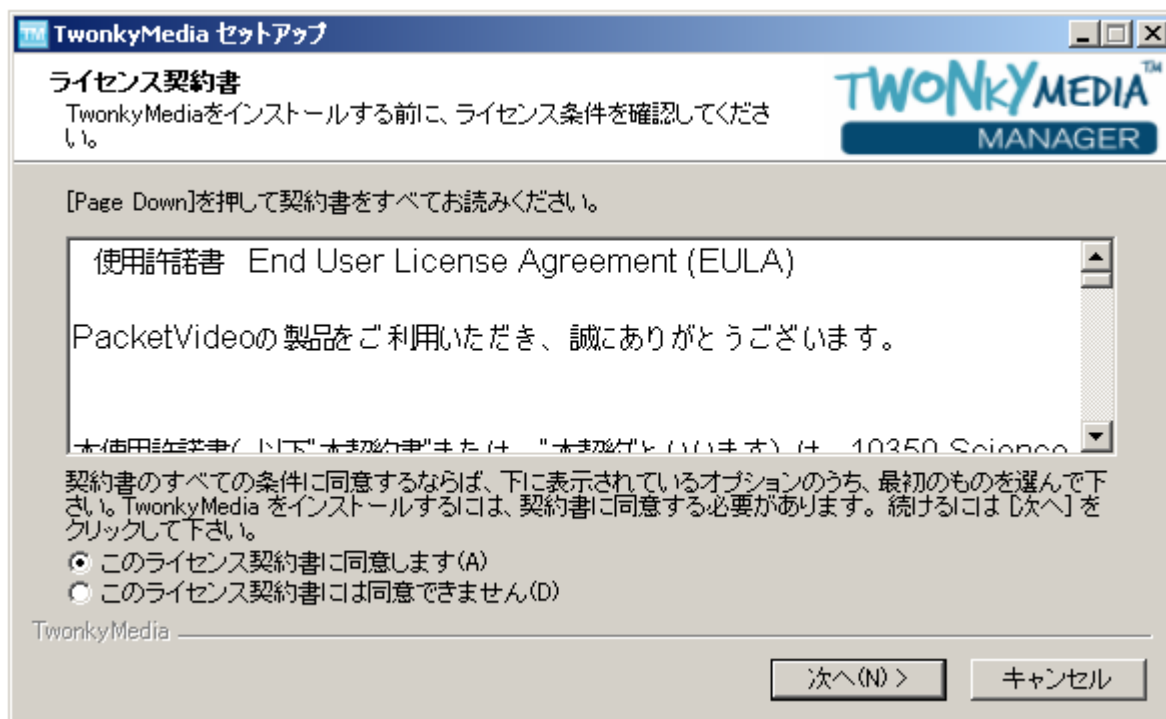
設定開始には、TwonkyMediaServerSetup.exe をダブルクリックしてください。このファイルは、インストール CD から、またはオンラインでダウンロード入手してください。

まず、インストールに使用する言語をご選択ください。選択言語は、インストール中だけでなく、TwonkyMedia server の設定ページ、クライアント機器上のナビゲーションツリーの表示にも反映されます。

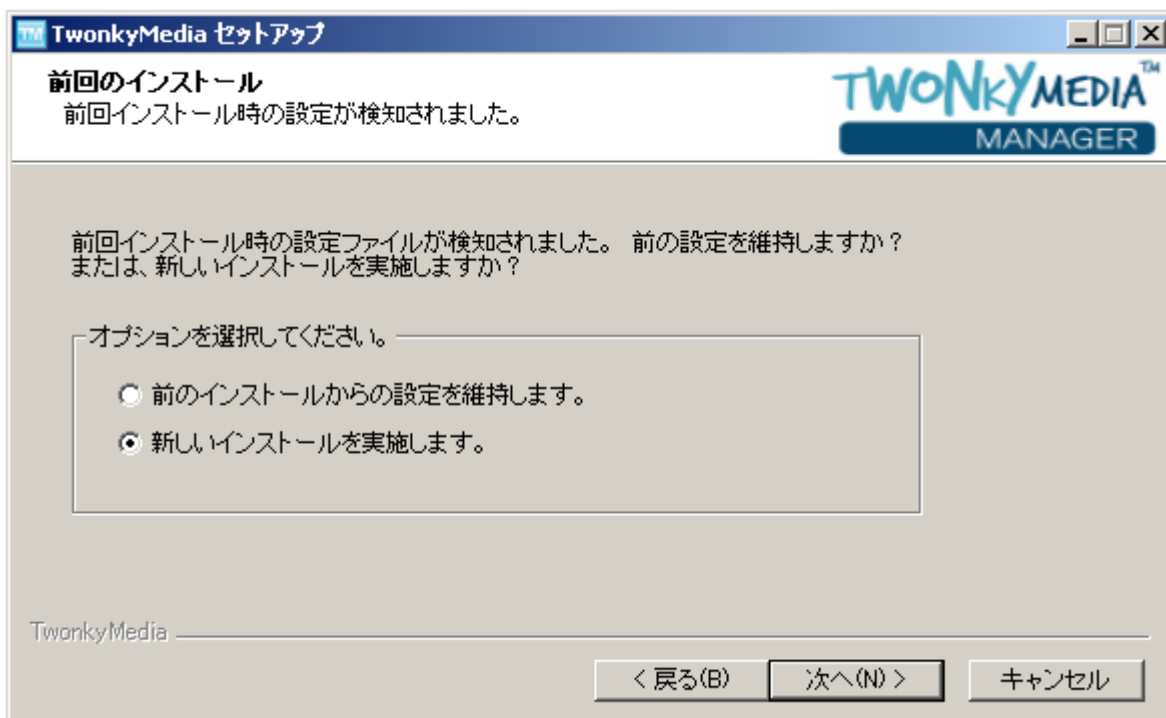


そして、使用許諾書を確認の上、同意をしてください。ライセンス条項に同意できない場合は、インストールを継続することができません。



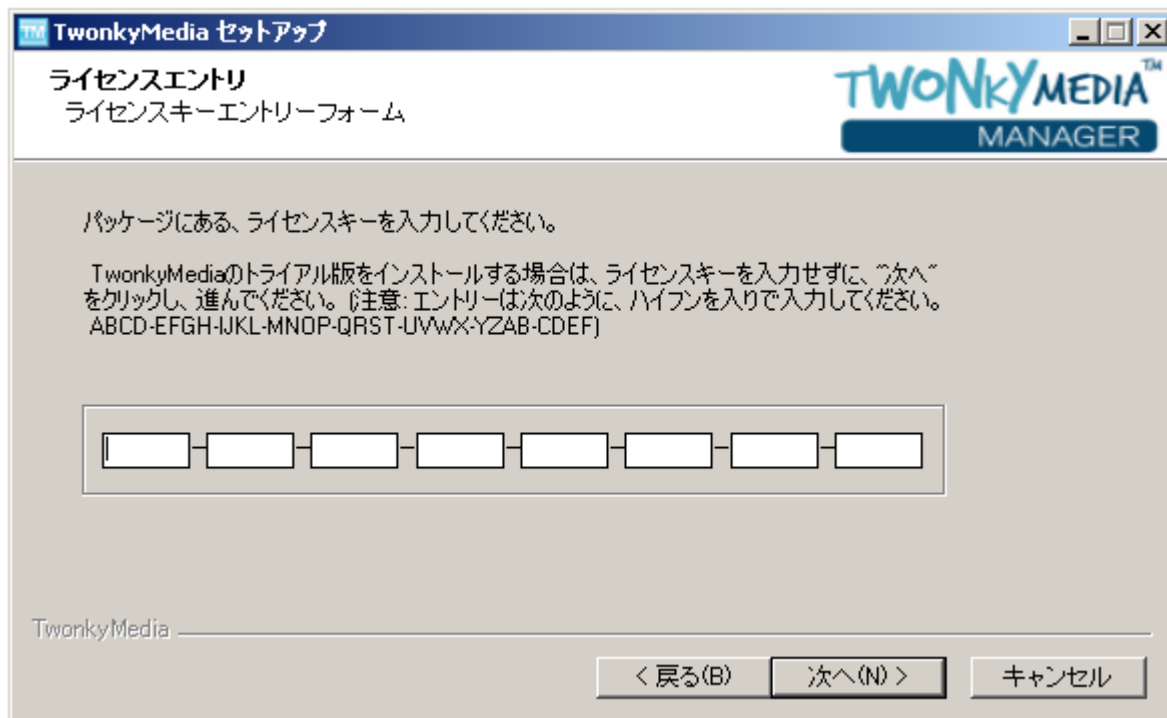


すでにお持ちの TwonkyMedia server version 4.x に、TwonkyMedia server version 5.x をインストールする場合は、“新しいインストール”を選択してください。“前のインストールからの設定を維持”を選択した場合は既存の TwonkyMedia server version 5.x の設定情報が新しい 5.x に持ち越されます。TwonkyMedia server をはじめてインストールする場合、もしくは、古いバージョンの TwonkyMedia server をアンインストールした場合、このポップアップは表示されません。

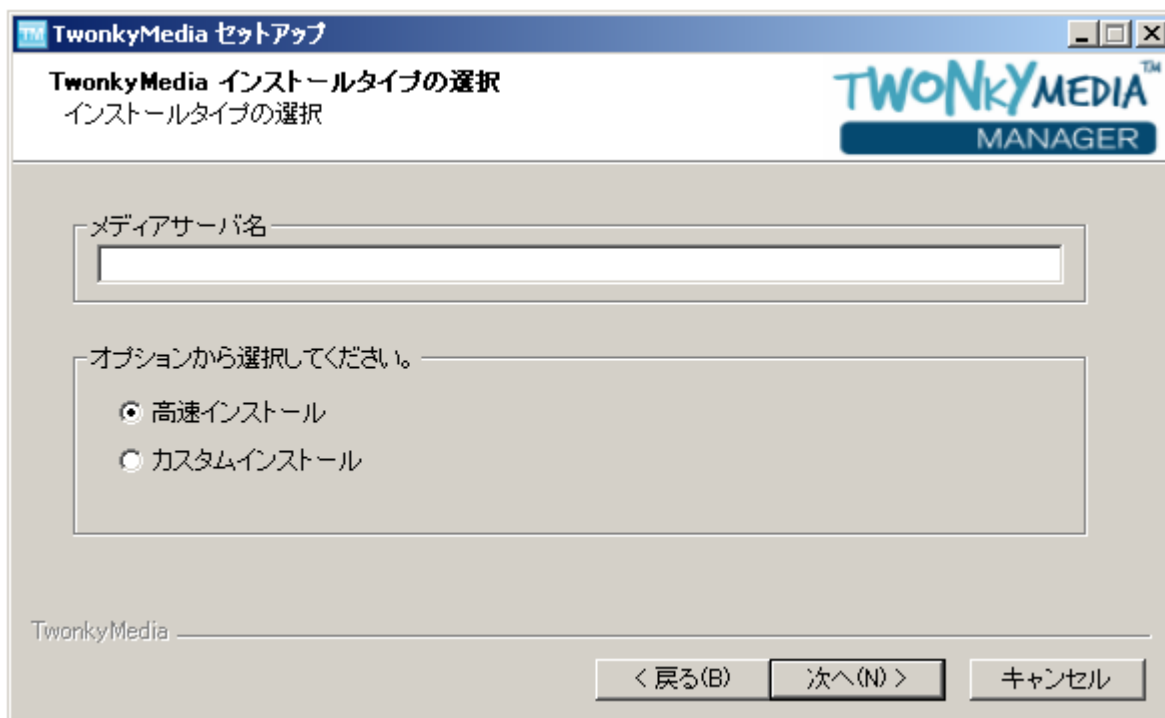


新しいインストールを選択した場合、また、はじめて TwonkyMedia server をインストールする場合は、次のステップで、ライセンスキーを聞かれます。TwonkyMedia Server の 30 日間トライアルバージョン

ンを使用する場合は、キーを入力せずに、次に進んでください。TwonkyMedia server 4.x でご使用いただいていたキーは、TwonkyMedia server 5.x には使用いただけませんのでご了承ください！



前のインストールからの設定を維持を選択をした場合は、キーが自動的に検出されます。



この画面で、メディアレシーバで表示されるメディアサーバの名前を入力します。PC 名をそのまま表示したい場合は、%HOSTNAME% と入力してください。例えば TwonkyMedia [%HOSTNAME%] と入力すると、TwonkyMedia[PC 名] と表示できます。または、ここでサーバ名を入力せずに次に進むことも可能です。インストールが完了した後に、設定ページから入力、変更いただけます。

高速インストール:

初期設定では次のディレクトリがシェアされるようになっています。

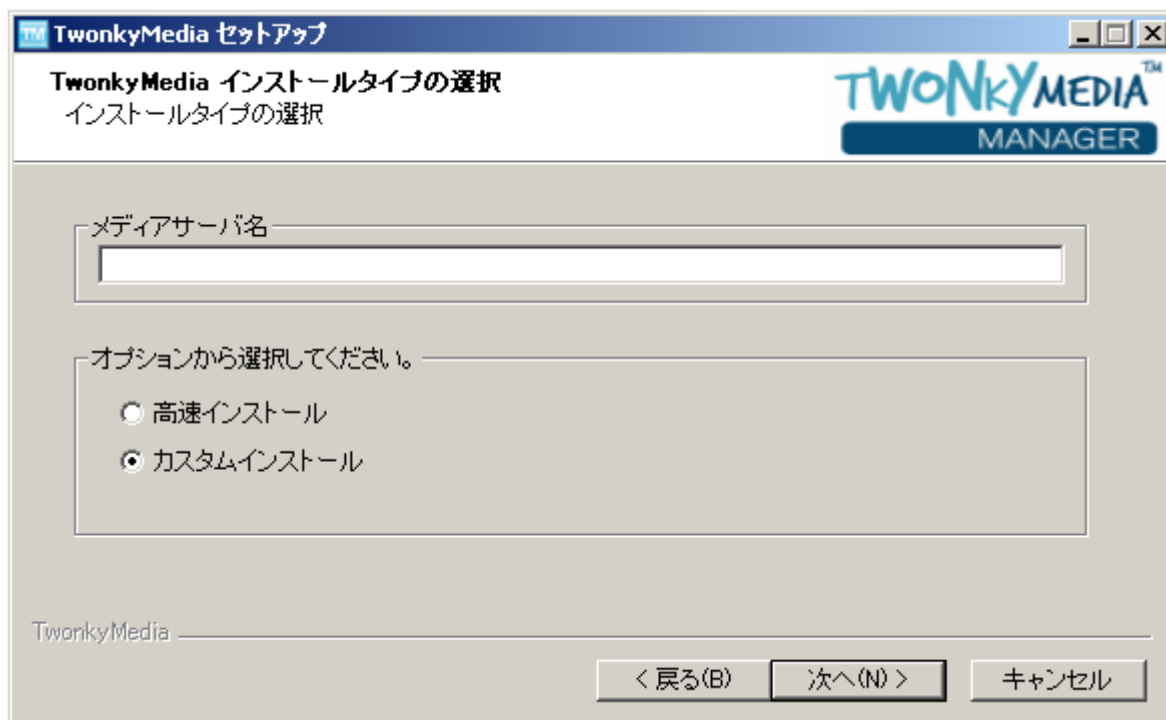
ミュージックのみ: C:\%Documents and Settings%\lambda%\My Documents%\My Music

フォト画像のみ: C:\Documents and Settings\lamba\My Documents\My Pictures

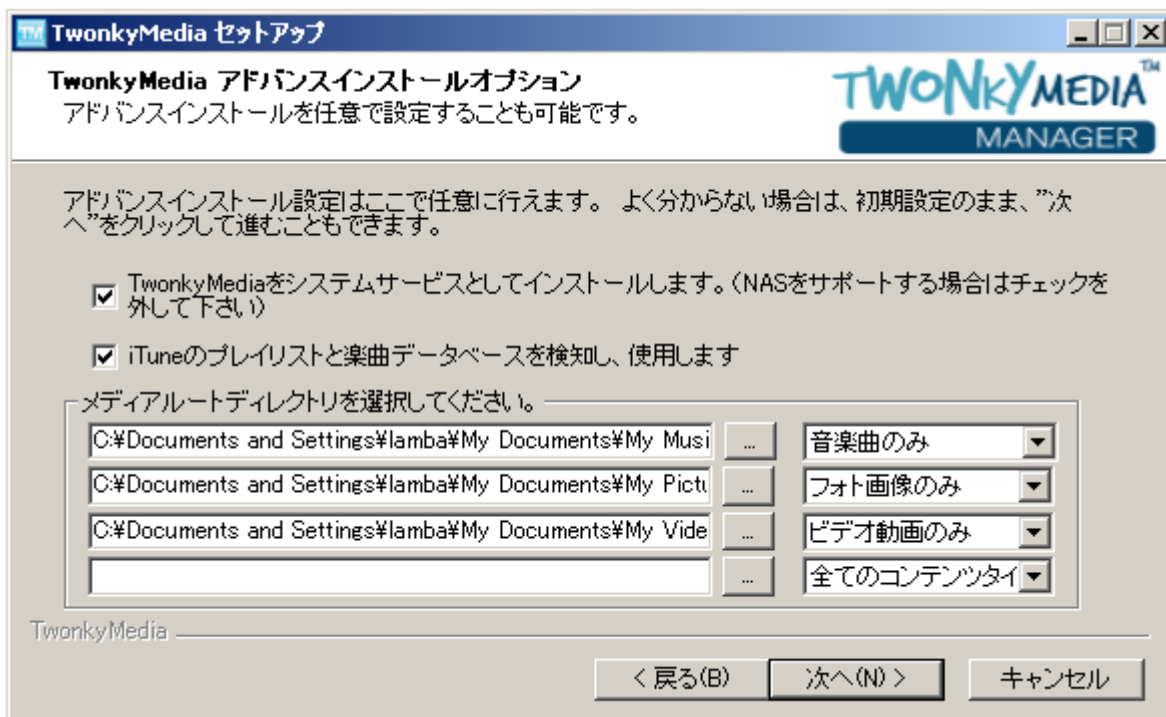
ビデオ動画のみ: C:\Documents and Settings\lamba\My Documents\My Videos

TwonkyMedia はシステムサービスとしてインストールされます。

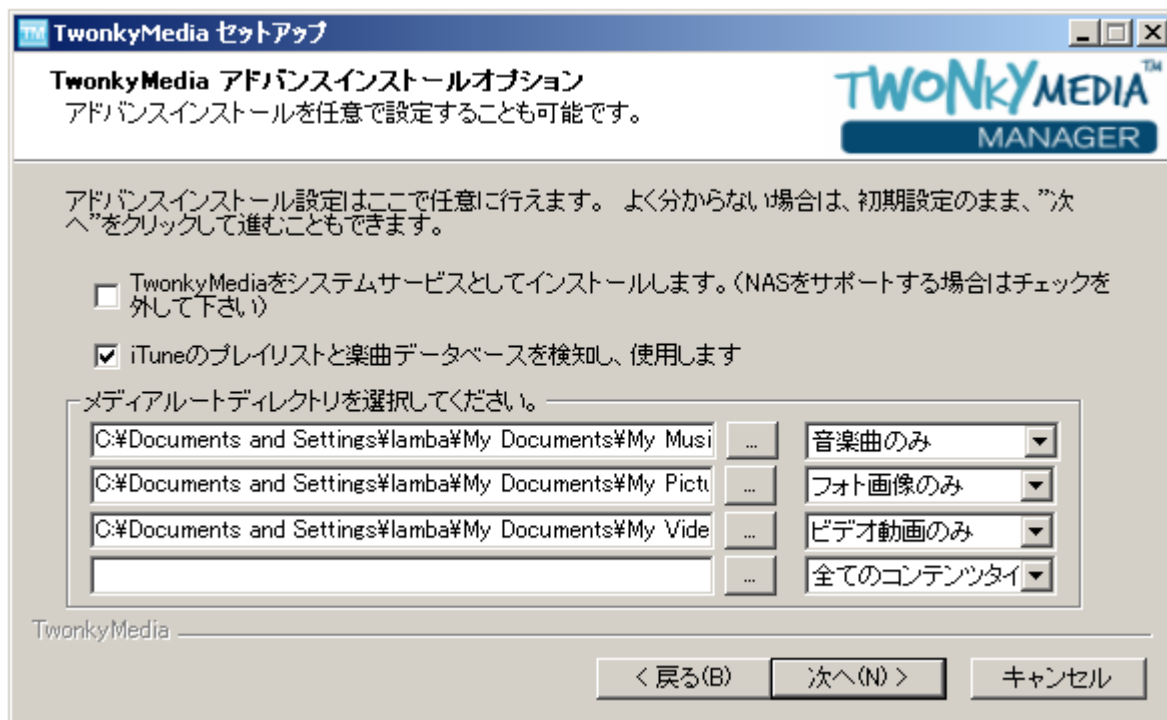
iTunes が検知された場合は、iTunes のプレイリストとデータベースが取り込まれます。



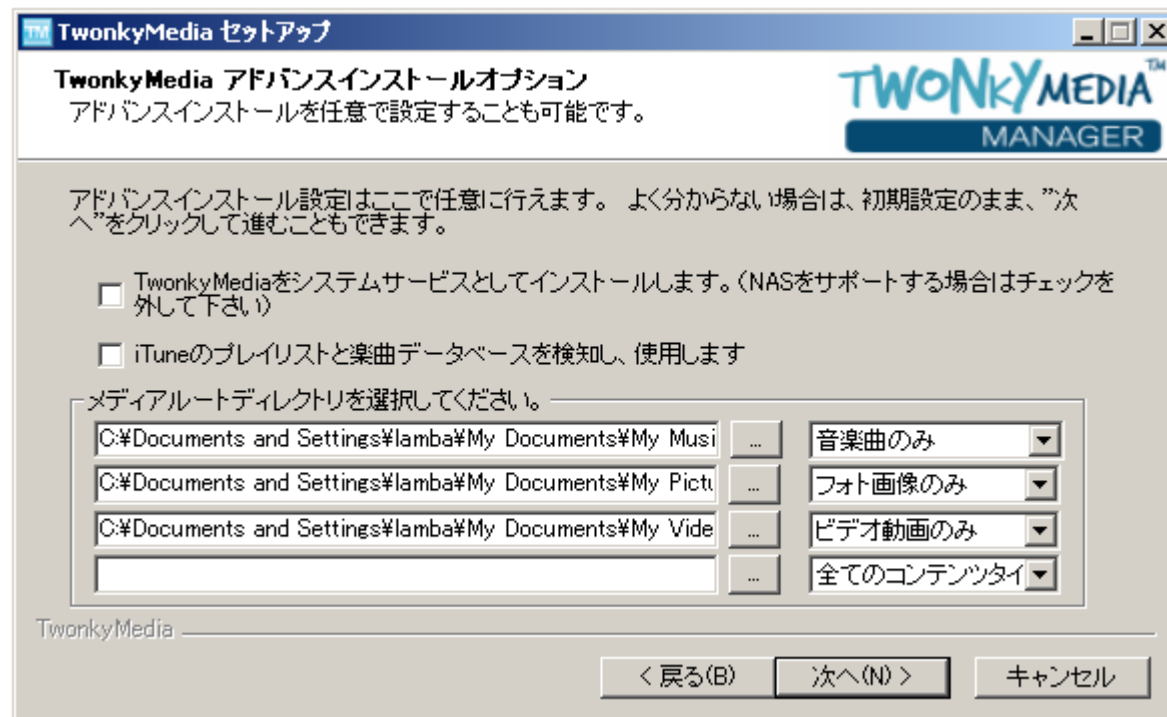
カスタムインストールの選択で初期設定されている項目を変更できます。



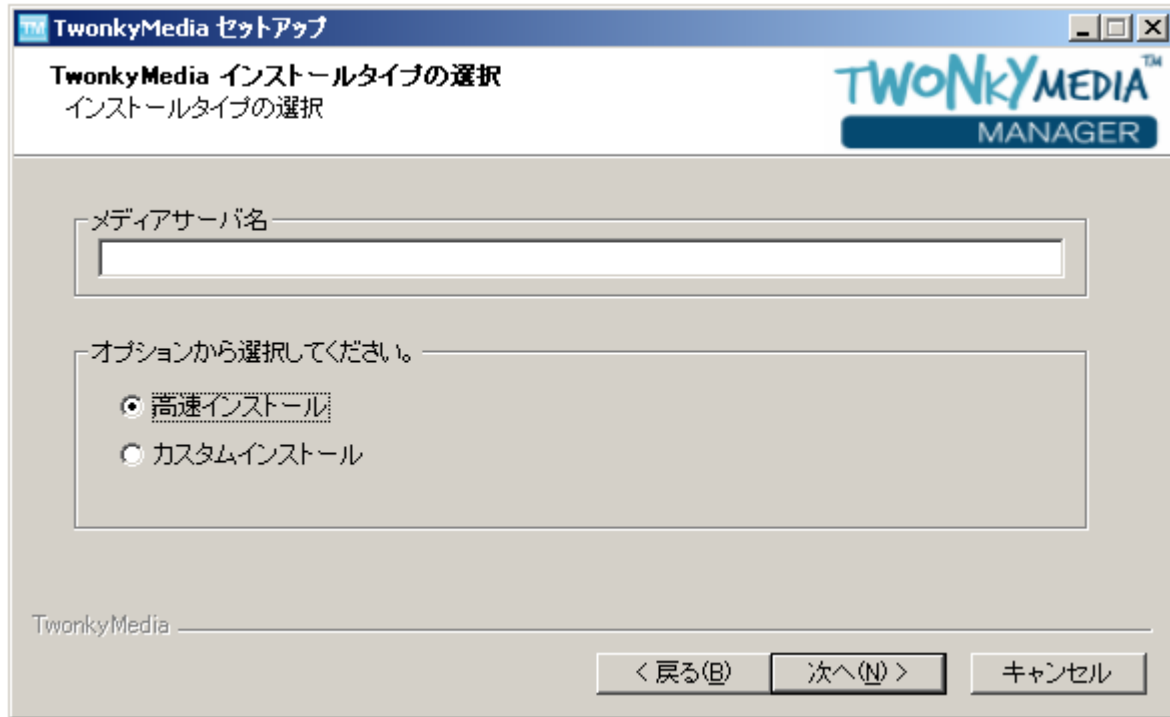
この画面で、サーバがコンテンツをスキャンするディレクトリをご指定ください。それぞれのディレクトリはコンテンツタイプを限定可能です。初期設定では、全てのコンテンツタイプがスキャンされるようになっています。インストール後すぐにスキャンを行わない設定にしたい場合は、推奨として表示されているディレクトリのパスを削除してください。メディアディレクトリもインストール後、設定ページで変更可能です。



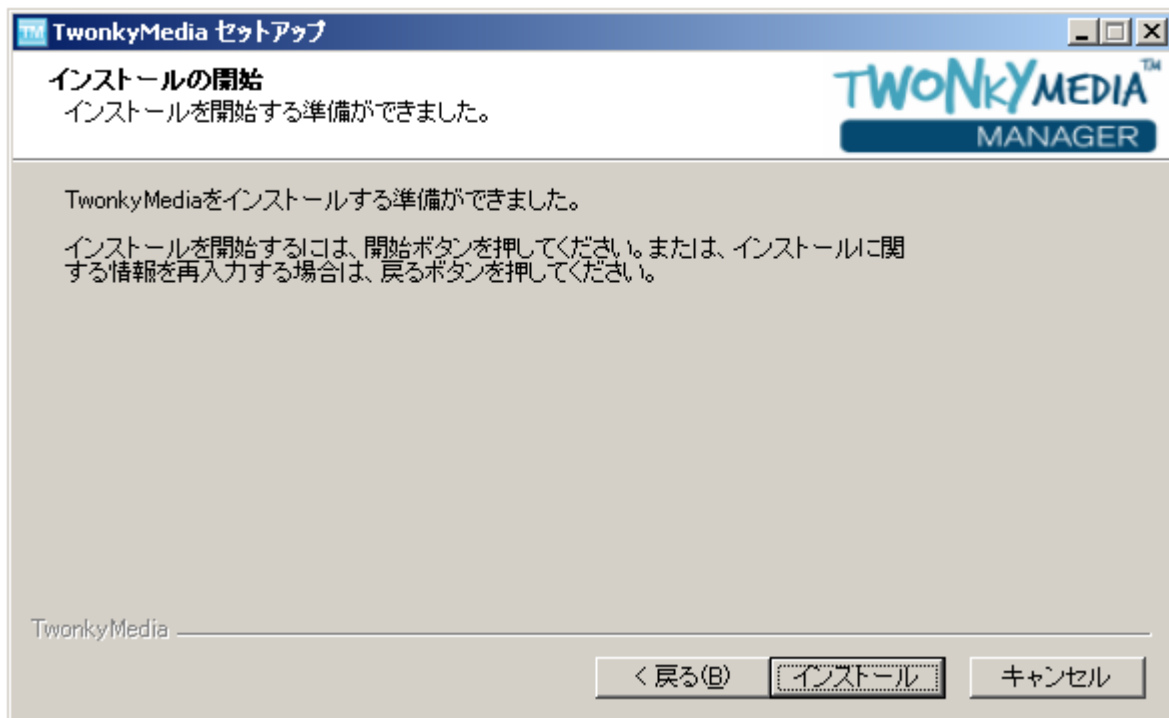
TwonkyMedia をシステムサービスとしてインストールしない場合は、オプションのところでチェックをはずしてください。例えば他の組込みサーバが NAS 上で動作しており、それを TwonkyMedia で管理する場合は、この手順を行ってください。

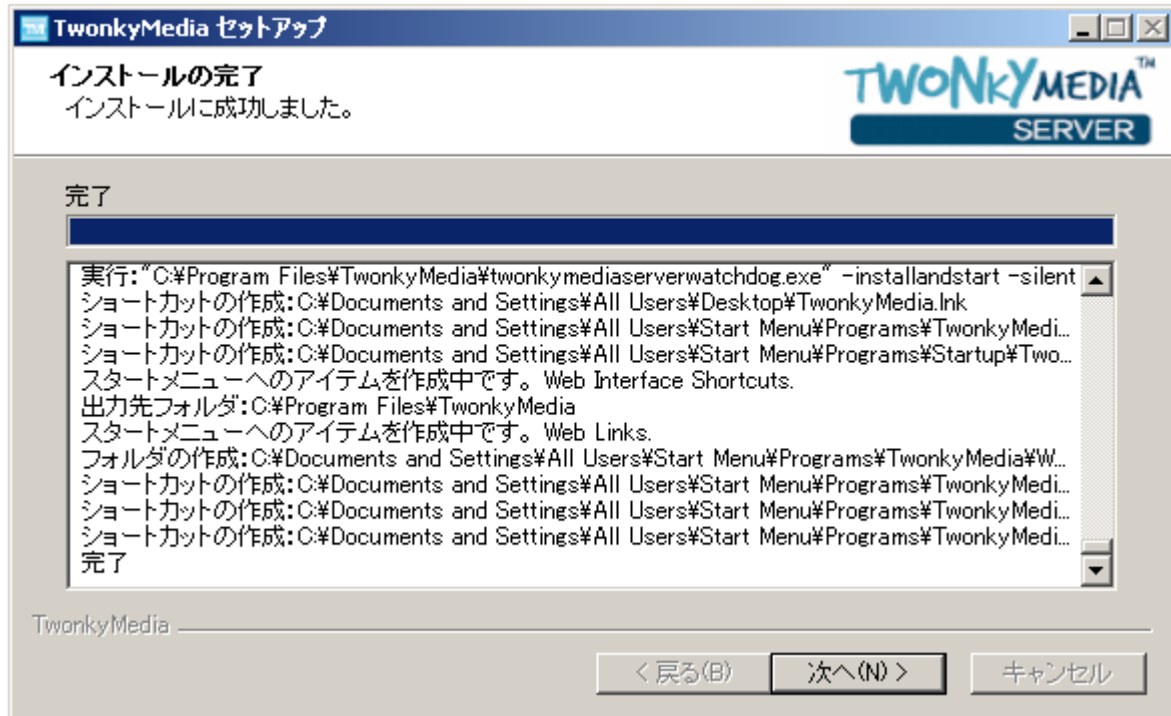


iTunes の検知と音楽データベースのスキャンを希望しない場合は、チェックをはずしてください。



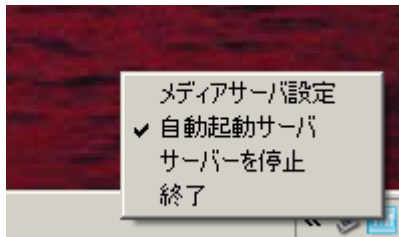
インストールを開始する設定が完了しました。





TwonkyMedia server は、初期設定でシステムサービスとしてインストールされ、インストール完了とともに自動的に起動するよう設定されています。カスタムインストール中、TwonkyMedia をシステムサービスとしてインストールしない場合は、手動で起動を行ってください。これで、TwonkyMedia server の準備が整いました。家庭内のどこでもメディアをシェアすることができます。

トレイアプリケーションからアドバンス設定にアクセスできると同様に、サーバを手動で起動、終了できます。



3 Linux

Linux 用パッケージには、二つの形式があります。shell スクリプト(拡張子は.sh)と ZIP ファイル(.zip)形式です。実際には、shell スクリプトが ZIP ファイルのラッパーになっているため、シンプルなインストールや準備手順ができるように構成されています。

Linux をよくご存知でない方は、shell スクリプトインストールをお勧めします。shell スクリプトインストールについては、次で説明します。Linux をよくご存知の方は、この部分を飛ばして、ZIP パッケージの概要に進んでください。(→3.2.ZIP 形式パッケージのインストール)

3.1 Shell スクリプトのインストール

```
twonkymedia-<platform>.sh
```

<platform> は、i386 のようなもので、例えば、Linux x86 のパソコン用の twonkymedia-i386.sh になります。

二つのバージョンをインストールしたい場合は、インストール設定からインストールパスを修正してください。修正がない場合、インストーラはユーザに対する警告なしに、古いインストールへの上書き作業を実施します。ご注意ください。

3.1.1 プリインストールの設定

Root でログインした場合は、このステップをスキップ可能です。コンテンツディレクトリとランタイム設定は、サーバが動作している間であれば、後からでも修正可能です。

スクリプトは、ユーザ Root によりインストールが完了したとみなします。ユーザを一人に設定する場合、または、最初の設定を修正するには、Linux 内のお好みのエディタでスクリプトを開いてください。Windows では、絶対にスクリプトを編集しないでください！

インストール操作には、次の変数が使用されています:

- INSTALLDIR
サーバがインストールされるディレクトリ。Root でない場合、次のように変更することをお勧めします: \$HOME/TwonkyMedia
初期設定では次の通りです: /usr/local/twonkymedia
- INITSCRIPT
ブート時に、サーバを自動的に起動するスクリプトを配置する場所。
初期設定では次の通りです: /etc/init.d/twonkyserver
- STARTAFTERINSTALL
インストール後のサーバ起動の無効化、有効化を設定。
初期設定では次の通りです: yes

3.1.2 サーバのインストールとスタート

ウェブサイトからスクリプトをダウンロードした場合、ブラウザがスクリプトの実行を促してくれます。スクリプトを再設定する必要がない場合は、そのまま作業を実施してください。または、スクリプトを手動で実行し、インストールしてください。手順は、Linux のディストリビューションやデスクトップの設定によって異なります。ここでは、最も一般的なデスクトップ設定でのインストール手順が説明されています。

3.1.2.1 GNOME

インストール手順:

- nautilus を開きます。通常、デスクトップには、‘パーソナルフォルダ’か‘ホームフォルダ’が含まれています。このアイコンをダブルクリックします。
- そして、インストール用スクリプトを保存したディレクトリに変更してください。
- 変更後、スクリプトをダブルクリックしてください。
- すると、スクリプトがサーバのインストールを開始します。
- インストールの終わりに、インストールに関するログがポップアップ表示されます。

自動スタートを無効にしている場合は、次の手順でサーバを手動で起動してください:

- nautilus を開き、インストール用のディレクトリに行きます。
- 続いて、twonkymedia をダブルクリックしてください。

一旦、サーバを起動したら、twonkymedia-config.html をダブルクリックすることで、ブラウザウィンドウが開き、表示される設定ページ内で変更が可能になります。

3.1.2.2 KDE

KDE は初期設定で、ダブルクリックでなく、シングルクリックでディレクトリを開いたり、プログラムをスタートするように設定されています。ご注意ください。シングルクリックの操作をダブルクリックに変更したい場合は、コントロールセンターで実行してください。ここでは、シングルクリックの操作を前提に記述しています。

イントール:

- konqueror を開いてください。通常、デスクトップには、‘パーソナルフォルダ’か‘ホームフォルダ’が含まれています。このアイコンをシングルクリックします。
- そして、インストール用スクリプトを保存したディレクトリに変更してください。
- 変更後、スクリプトをシングルクリックしてください。
- すると、スクリプトがサーバのインストールを開始します。
- インストールの終わりに、インストールに関するログがポップアップ表示されます。

自動スタートを無効にしている場合は、次の手順でサーバを手動で起動してください:

- konqueror を開き、インストール用のディレクトリに行きます。
- 続いて、twonkymedia をシングルクリックします。

一旦、サーバを起動したら、twonkymedia-config.html をシングルクリックすることで、ブラウザウィンドウが開き、表示される設定ページ内で変更が可能になります。

3.1.2.3 Terminal

お好きな Terminal を起動してください。(例: xterm, kterm, rxvt …) そして、インストール用スクリプトを保存したディレクトリに変更してください。

スクリプトを開始します。次のいずれかを実行してください:

```
./twonkymedia-i386.sh(または、同様のファイル)
```

または、

```
DISPLAY= ./twonkymedia-i386.sh(または、同様のファイル)
```

二つ目は、最後のメッセージボックスを表示しないでスクリプトを実行する場合です。

”=”とドットの間には、空欄が含まれています。ご注意ください。

サーバを手動でスタートする場合は、インストール用ディレクトリ内から手動で実行するか、または、twonkymedia.sh でスクリプトを開始してください。まず、/usr/local/twonkymedia に古いインストールがないかがチェックされ、そして、スクリプト自体がインストールされているディレクトリがチェックされます。

3.2 ZIP 形式のパッケージでのインストール

twonkymedia-<platform>.zip

<platform> は、i386 のようなもので、例えば、Linux x86 のパソコン用の twonkymedia-i386.zip になります。

パッケージを空のディレクトリ内に解凍します(サブフォルダも保存してください。)

パッケージには以下が含まれます:

twonkymedia	TwonkyMedia UPnP サーバのスタータ
twonkymediaserver	TwonkyMedia UPnP サーバ
cgi-bin/*	TwonkyMedia 用 cgi スクリプト
plugins/*	TwonkyMedia 用プラグイン
resources/*	TwonkyMedia のリソース
RevisionHistory	変更に関するログ
radio.m3u	サンプルプレイリスト
licence-en.rtf	使用許諾書
twonkymedia.sh	自動スタートスクリプト
twonkymedia-server-default.ini	初期設定で開始
initial_keystore.dat	オンラインフィード用初期設定
mediafusion_keystore.dat	オンラインフィードにアクセスするためのイニシャルクレデンシャル

全てのファイルを ZIP パッケージを解凍したディレクトリ内に保存するか、または、該当するサーバと関連プラグインをインストール用ディレクトリにコピーしてください。init スクリプトは、/usr/local/twonkymedia を使用するよう初期設定されています。ご注意ください。

インストールを継続するにあたり、read と write 権限が付与されているか、ご確認ください。もし、許可されていない場合は、次を試してみてください:

```
"chmod 700 twonkym*"
```

最終的に、サーバはマルチキャストルートセットが必要になります。そのためには、次を実行してください。例:

```
"route add -net 224.0.0.0 netmask 240.0.0.0 dev eth0"
```

サーバを、"./twonkymedia"だけでなく、/usr/local/twonkymedia/twonkymedia でスタートしてください。サーバは、開始メッセージを表示します。サーバが作動したら、UPnP クライアント機器を使って、サーバを検知し、使用開始してください。作業を継続する前に、ウェブ上の設定ページから、サーバに一つ以上のディレクトリを割り当ててください。

クライアントデバイスがサーバを見つけられない場合は、ファイアウォールの設定を確認してください。サーバが、CTRL-C で、または、SIGTERM 信号を受信して、シャットダウンした場合は、UPnP ネットワークに bye-bye メッセージを送信し、デバイスにサーバが消えたことを知らせます。

サーバの自動スタートを有効にするには、Linux の豊富な知識が必要になります。Linux のディストリビューションはそれぞれ異なりますので、一般の手順はおすすめてできません。ほとんどの場合、"twonkymedia.sh"が適用でき、自動スタートの有効化に適切なロケーションにリンクできるように設計されています。スクリプトは、/etc/init.d または /etc/rc.d にインストールされ、rc3.d と rc5.d に S99twonkyserver と K99twonkyserver として、関連付けられると、SUSE、OpenSUSE、Fedora Core と他の Linux スタンダードベース(LSB)に準拠したシステム上で連動します。

```
"ln -s ../twonkymedia.sh S99twonkyserver"
```

```
“ln -s ../twonkymedia.sh K99twonkyserver”
```

または、OS でサポートされている場合は、こちらも使用できます:

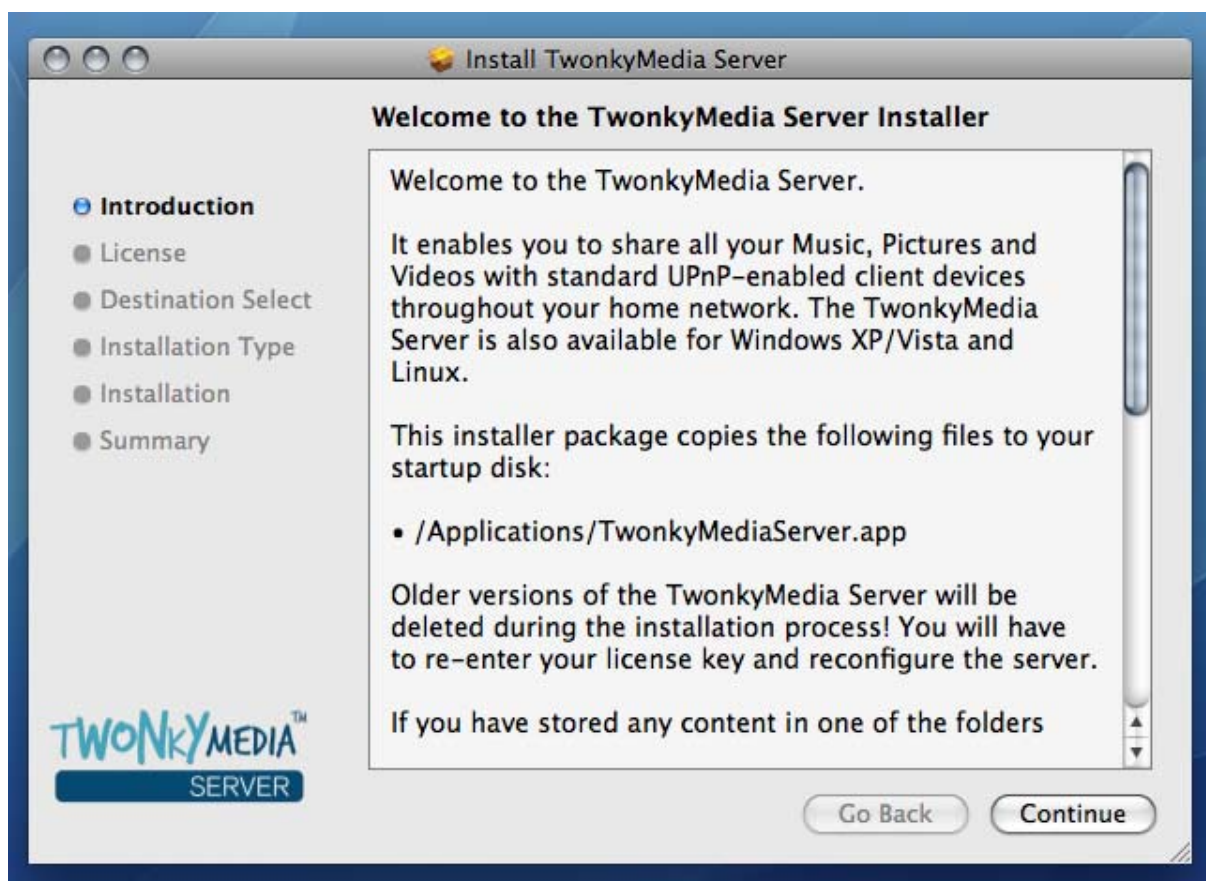
```
“chkconfig --level 35 twonkyserver on”
```

4 Mac OS 設定ツール

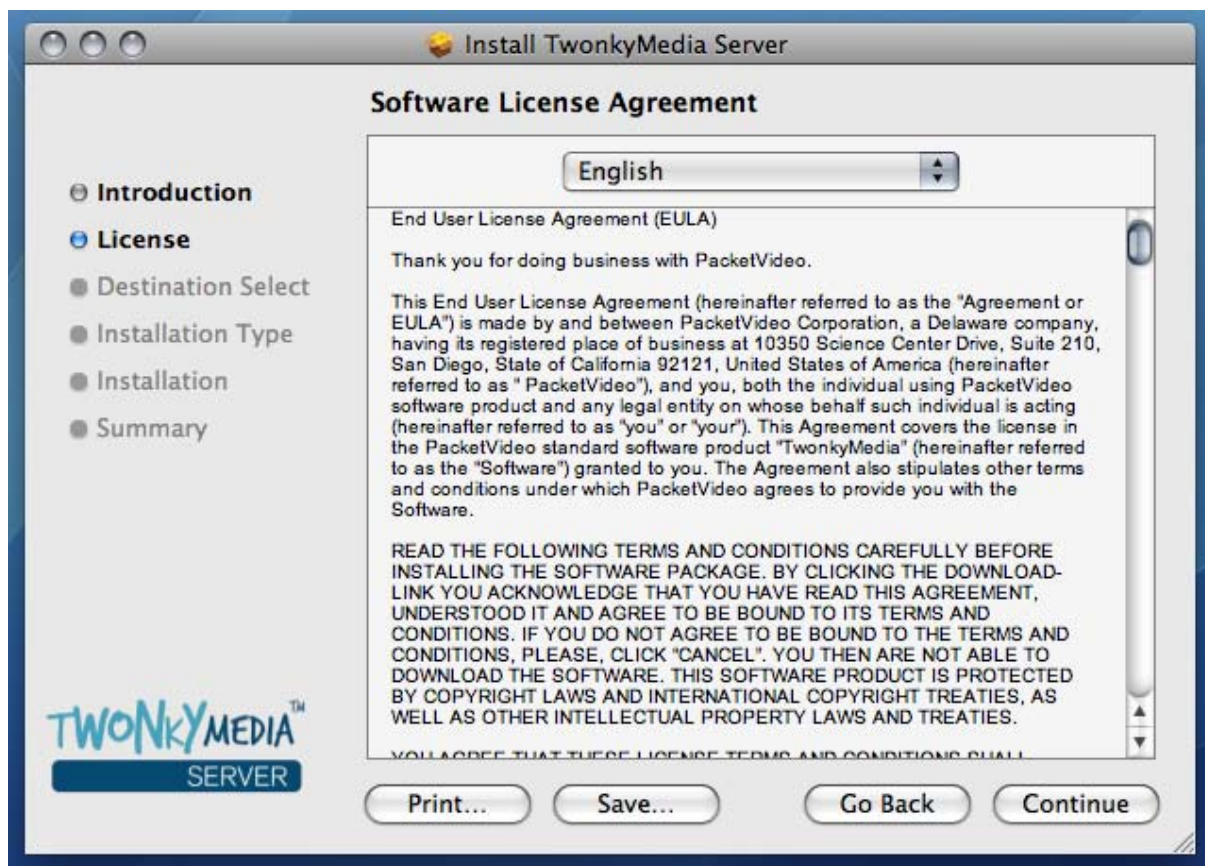
Mac の OS 用の TwonkyMedia インストーラパッケージは、インストールから主要パラメータの設定までを案内するように設計されています。



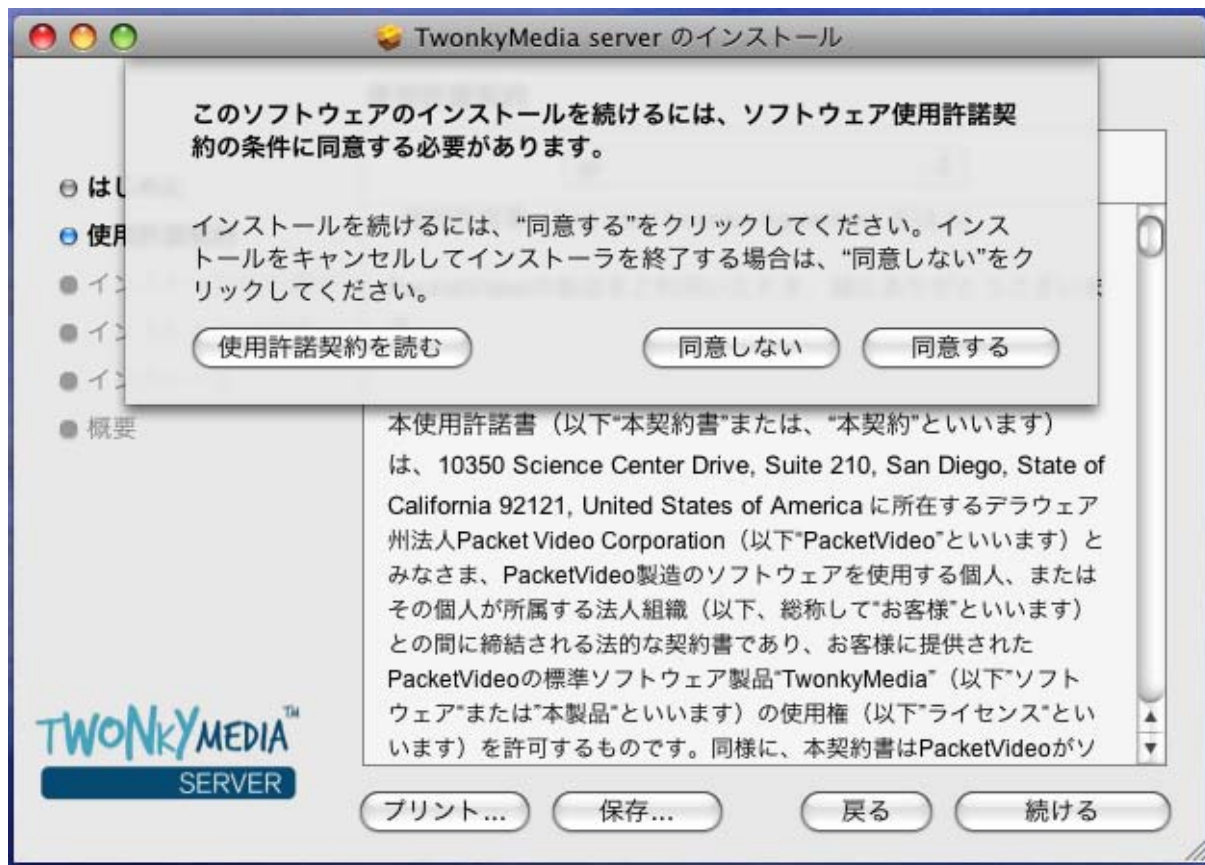
TwonkyMedia server-MOSX zip ファイルをダブルクリックし、インストーラパッケージを抽出します。そして、そのパッケージをダブルクリックして、インストール手順を開始してください。



インストールに関する注意をご確認のうえ、継続を押してください。



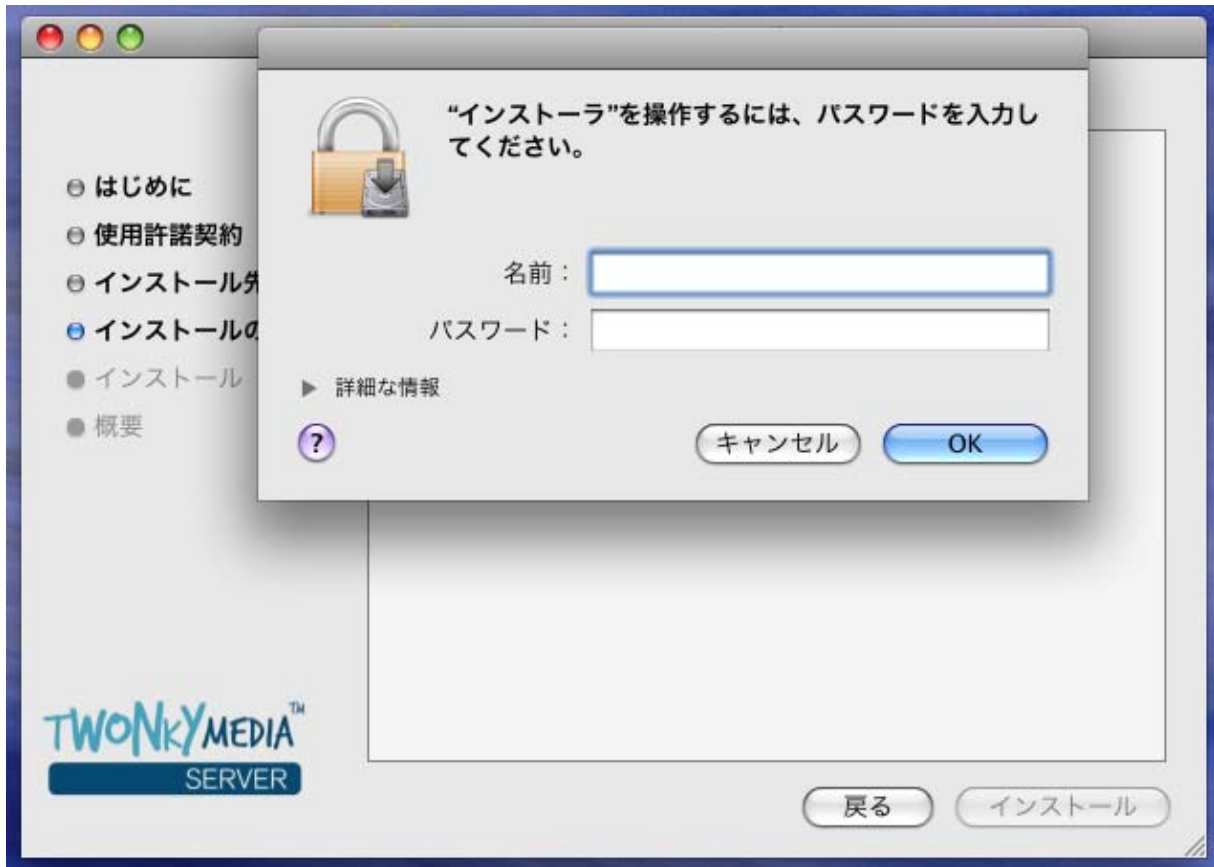
使用許諾書を確認のうえ、同意してください。



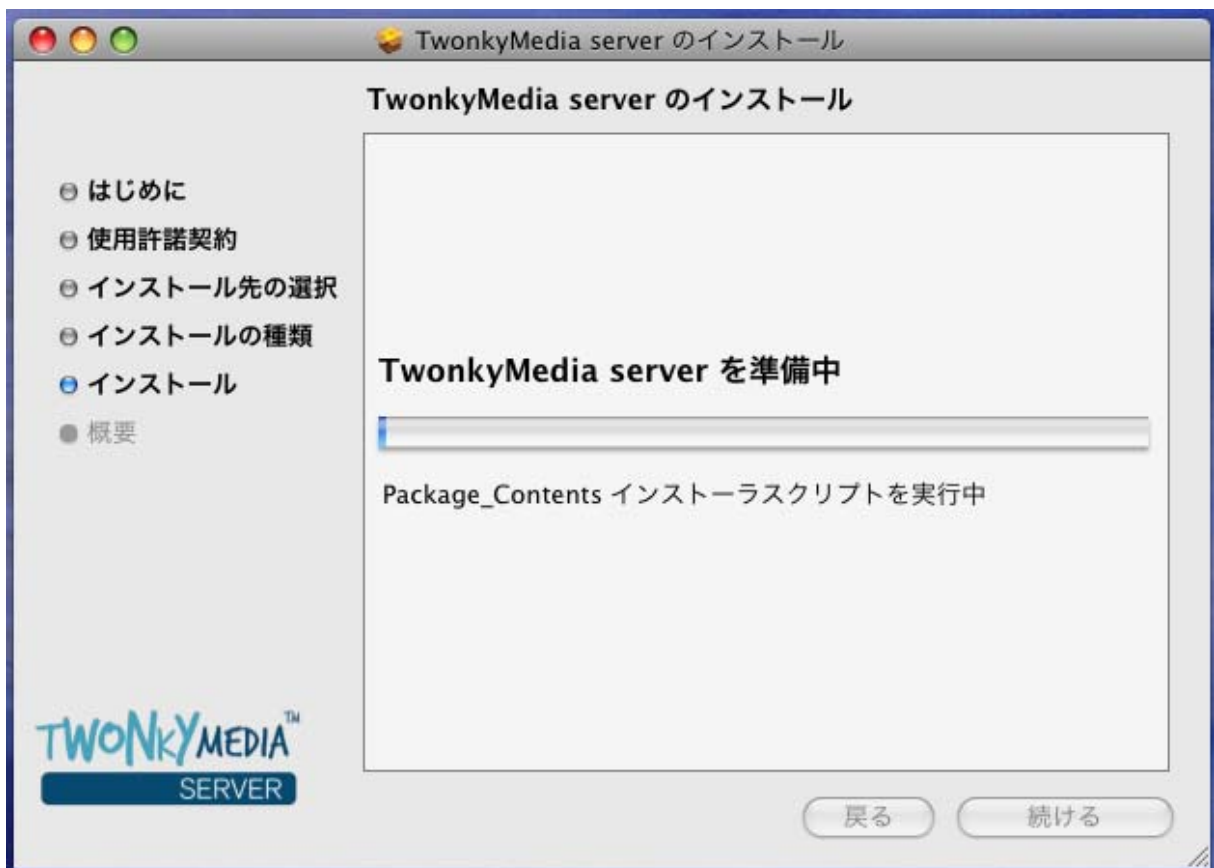


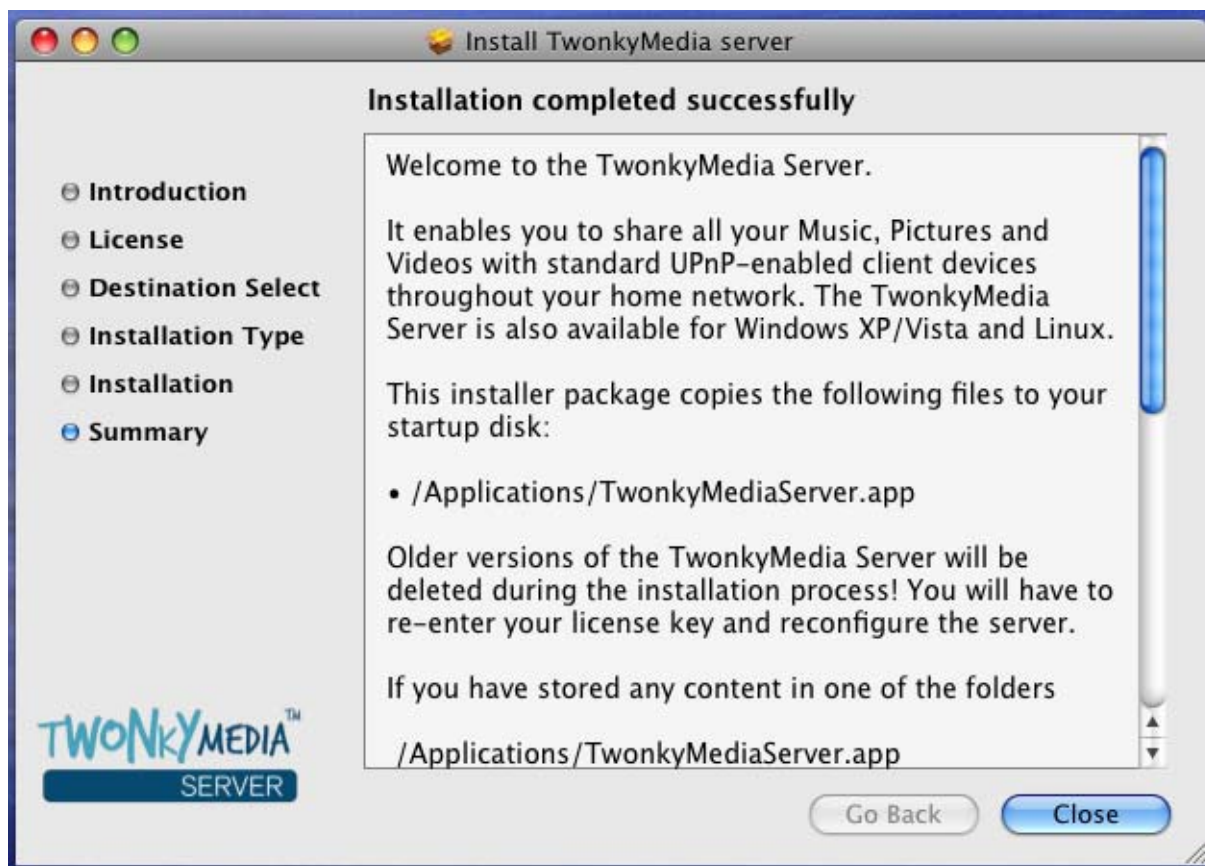
古いメディアサーバが検知された場合、インストーラは古いバージョンをアンインストールし、新しいバージョンをインストールします。古い TwonkyMedia のインストールフォルダにコンテンツファイルが含まれていないかご確認ください。これは、特に TwonkyMedia version 4.x には大変重要点です。というのも、バンドルされている、/Applications/Mediaserver.app が削除されてしまうからです。ファイルダ内に表示されているサーバのバージョン番号は、リブート後に MacOS によってのみ更新されます。ご了承ください。

注意事項: 設定内の情報は、インストールの過程でデフォルトの数値にリセットされますので、再度ライセンスキーを入力する必要があります。万一、古い設定ファイルが見つかった場合は、デスクトップにコピーされます。



ユーザ名とサーバ使用者のパスワードを指示に従い入力してください。



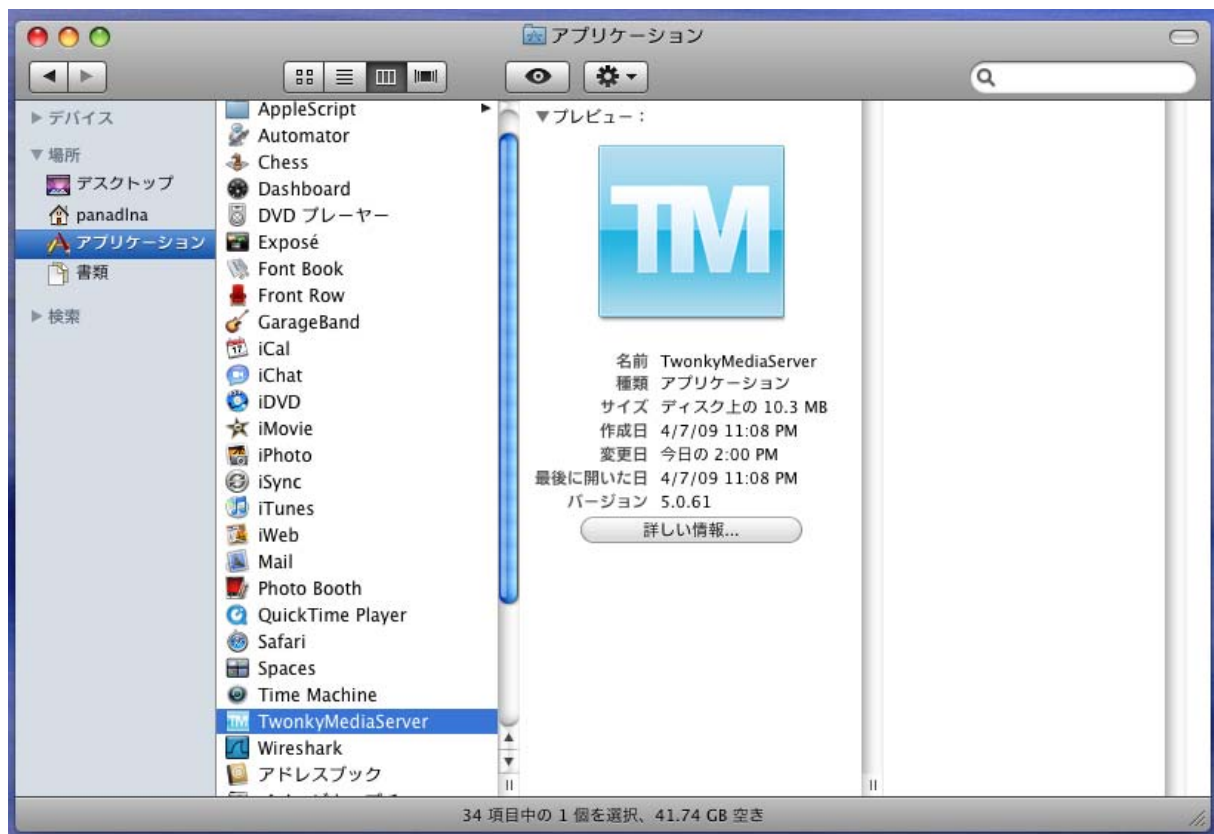


インストールが完了すると、サーバが起動され、サーバの設定ページが表示されます。



インストーラは二つのアイコンをデスクトップに作成します:

- “TwonkyMedia 停止”のアイコンは、Safari を開き、TwonkyMedia server に停止信号を送ります。
- “TwonkyMedia の設定”は、Safari で設定ページを開きます。



自動スタートリストから TwonkyMedia server を削除してしまった場合は、ファイナダ内のアプリケーションフォルダから TwonkyMedia server をスタートしてください。

4.1 MAC 上でのアンインストール

アプリケーションフォルダ内の TwonkyMedia server エントリをデスクトップ上のごみ箱アイコンにドラッグすることにより、TwonkyMedia server をアンインストールします。初期設定では、ユーザデータは削除されないように設定にされています。

例えば、個人設定やメディアレシーバ環境は~/Library/Application Support/TwonkyMediaServer ディレクトリ内でご覧いただけます。

5 詳細設定

TwonkyMedia server のインストールが完了したら、ほとんどの場合、すぐ使用開始できるよう初期設定されています。さらに、オプションをカスタマイズすることも可能です。次は TwonkyMedia のカスタマイズ方法の例です:

- 全てのオプションは、サーバのウェブベースの設定ページで設定可能です。TwonkyMedia を起動すると、twonkymedia-config.html のページがスタートアップディレクトリに作成されます。このページにアクセスするには、ウェブブラウザを使って、このページを開いてください。初期設定を変更していない場合は、このページは常に次の場所にあります:

`http://your-ip:port/config`

“your-ip”は、実際に TwonkyMedia が動作しているデバイスの IP アドレスです。port (ポート)は、TwonkyMedia server の HTTP サーバのポート番号で、初期では 9000 に設定されています。この URL、`http://127.0.0.1:9000` は、ほとんどのシステムで動作するように設計されています。

- オプション選択の別の方法は、UTF-16 のテキスト編集ができるエディタで、TwonkyMedia ディレクトリの設定ファイルを直接編集する方法です。これまでのエラー状況からして、この方法は経験豊富なユーザにのみおすすめします。ファイル名は `twonkymedia-server.ini` です。ファイルは準備のスタートアップの段階で、自動的に作成されます。メディアサーバを初期設定の状態にリセットしたいときはいつでも、このファイルを削除してください。TwonkyMedia は、初期設定に基づき、再度このファイルを再作成します。シングル設定オプションにも同じものが適用されます。つまり、.ini ファイル内で、オプションを検知し、ファイルから、ラインを削除します。次の TwonkyMedia のスタートアップで、TwonkyMedia は、そのオプションに該当するラインを初期設定値とあわせて、.ini ファイルに再挿入します。

最後に、オプションは TwonkyMedia 立ち上げの際に、コマンドラインパラメータを指定可能です。幾つかのオプションは、コマンドラインパラメータでのみ指定可能です。設定の変更を行うと、TwonkyMedia のリスタートが必要になります。ウェブベースの設定ページのリスタートボタンをご使用ください。

個々の設定オプションの説明はウェブ設定ページに直接記述されています。

6 サードパーティソフトウェア

この部分は、JPEG Group の独自の作業に基づいています。

libjpeg は JPEG ファイルのサイズリスケールに活用されています。(詳しくはこちらをご確認ください。

→<http://www.iij.org/>)